2019年度事業報告

**１．意思決定支援実践のための総合プログラム開発事業**

**（１）南豪州S.A.-SDMを踏まえた､日本型意思決定支援実践プログラムの開発事業**

シェア・ニコルソン氏外１名招聘によるPFTトレーナー養成を行い、8名の認定トレーナーを養成した。

また日本型のPFT研修プログラムの基本的なモデルを検討した。

**（２）トーキングマット日本語版**

昨年度の公認トレーナー資格者の他に、基礎研修修了者を6名養成した。

READYFORを活用したクラウドファンディングを実施し、2,321,300円の支援を得た。

これと並行して、日本におけるトーキングマットの展開について、スコットランドTalking Mats社との協議を行った。

**（３）ポジティブリスクテイキング**

Positive Risk Takingの基礎概念と方法について、豪州メルボルンの視察調査を行った

**（４）日本型意思決定支援ツール・帳票開発事業**

英国・アイルランド・オーストラリア・ニュージーランドの視察に基づき、日本型の意思決定支援プログラムの構想を補強するとともに、評価、記述などの基本的なツールについて検討を行った。

**（５）意思決定支援実務アドバンス研修事業**

津久井やまゆり園での意思決定支援ガイドラインアドバンス研修を実施した。

**２．日本における意思決定支援のための実践の場づくり**

**（１）総合プログラムの開発・発展のための効果指標作成**

スタンダード構築の基盤として、花のモデルに基づく３レベル構造を検討、提案した。

**（２）国内パイロット型実践の場と支援体制構築**

PFT実践、トーキングマット実践、フォローアップ体制の協議などについて、それぞれ検討を行った。

**３．運営会議の安定的運営､組織体制の強化**

**（１）運営会議・臨時会議の開催**

**（２）SDM-Japanパンフレット作成**

**（３）公式ホームページ作成**

**（４）会員規程の整備その他**